

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 4年12月9日

事業所名: 発達支援センター巣立ち  
(放課後等デイサービス)

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	40%	60%	0%	利用人数による。活動内容によっては同建物内の多目的ホールや調理室等を使用しているが、回数が限られている。	85%	6%	0%	9%	0%	活動内容によっては場所を変えていると思うのでスペースは確保されていると思う。 室内を見たことがないので分からない。	活動内容に応じて、保健センター内の多目的ホールや調理室、市内のスポーツセンターや文化活動センター、図書館などを活用している。
	2 職員の適切な配置	0%	80%	20%	年度途中まで欠員があった。職員が休みの場合はパート職員で補っている。利用人数が多い場合や職員が休んだ場合の対応が難しいと感じる。	59%	13%	9%	19%	0%	子どもの人数に対して少ないように感じる。職員1人が担当する人数が多く先生が負担になっていないか心配である。 職員の入れ替わりも多く不安を感じる。 保育士や専門員が絶対的に少ない。 室内を見たことがないので分からない。 専門性のある適切なアドバイスがいただけるのでありがたい。 施設外での活動の際はもう少し職員がいると安心だと思う。	職員が足りない場合は、代替職員や学校生活支援員をお願いして補充しているが、十分に不足を補えていないのが現状である。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	60%	40%	0%	構造の面ではスペースが限られていることもあり、難しいこともある。バリアフリーも完全ではない。	70%	13%	2%	15%	0%	部屋の中をじっくり見たことがないのでどのような環境になっているか分からない。	スケジュールなどの確認や活動の説明には視覚的な支援を取り入れてきた。また、活動範囲はマットの色で分かりやすく工夫している。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	100%	0%	0%	棚等を整理し広く使いやすくした。床の色分けを整備し分かりやすくした。日々の清掃は行っているが、細かい部分まで行き届かないことがある。	90%	4%	0%	6%	0%	活動によって違いはあると思うが活動に合わせていると思う。 室内を見たことがないので分からない。	室内の換気、掃除、玩具・器具の消毒、検温などを実施し、新型コロナウイルス感染拡大予防に努めてきた。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	60%	40%	0%	日々活動等の振り返りは行っているが、次につながっているか、目標をもって活動できているかどうか再検討が必要。							毎日の打ち合わせの中で、振り返り一実践に努めてきた。振り返りが次に繋がるように心掛けている。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	20%	20%	60%								第三者による外部評価は実施できていない。今後検討する。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	80%	20%	0%	毎月1回リモートによる研修を実施している。もっと身になる知識や基本的なことを学ぶ研修に参加したい。							市教育支援室の先生を講師に招いて、より実践的な研修を実施している。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	100%	0%	0%		96%	2%	0%	2%	0%		現状の評価と課題、ニーズを踏まえ、必要性を明確にできるよう提示しながら作成していく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	100%	0%	0%		91%	9%	0%	0%	0%		職員全員で評価やモニタリングを共有し、共通理解のもと、より必要な支援内容を提示できるようにしていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答		保護者の方のご意見
提供	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	100%	0%	0%							利用者の個性や状況を理解し、個に応じた計画になるよう職員間の連携を密にしながら取り組む。
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	80%	20%	0%		90%	4%	0%	6%	0%	毎日のミーティングで現状と目標の確認を行いながら支援に当たる。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	80%	20%	0%							職員それぞれの個性を生かしつつ、全員で確認をしながらプログラムを決定するよう工夫する。
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	100%	0%	0%	毎月、季節に合った活動を取り入れる工夫をしている。	92%	6%	0%	2%	0%	職員それぞれの個性を生かしながら、変化のある、利用者が興味を持つようなプログラムを取り入れる。
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	100%	0%	0%							繰替休業日の際には、本人や保護者の希望を取り入れ、できるだけ平時にできない活動や公共機関を利用する機会をより多く取り入れるようにする。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	100%	0%	0%							朝の全体ミーティングで概要確認を行った後、現場ミーティングでより詳しい内容等を伝達するようにしている。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	100%	0%	0%							当日か翌日に、振り返り→実践となるように職員間での情報共有をする。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	100%	0%	0%							日々の記録を正確に残し、支援の改善や目標設定に役立てる。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	100%	0%	0%							計画的に定期的なモニタリングを実施し、状況把握と計画の見直しを行う。
関係機関	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	60%	40%	0%							必要に応じてできる範囲で参加するよう心掛ける。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無回答		保護者の方のご意見
との連携	2				医療的ケア児の受け入れは行って いない。							現在、該当者はいないが今後利用する児童がいる可能性もあるため関連機関との連携を密にしながら関わっていく。
関係機関との連携 (続き)	3				医療的ケア児の受け入れは行って いない。							現在、該当者はいないが今後利用する児童がいる可能性もあるため関連機関との連携を密にしながら関わっていく。
	4	80%	20%	0%								各学校とは毎月の予定表送付時にその月の様子を伝えるようにしている。
	5	40%	60%	0%								高校卒業後の利用事業所との連携が図れていない。できる範囲で情報提供を行っていく。
	6	40%	40%	20%								リモートを活用した研修への参加等、できる範囲で研修機会を設けるようにする。
	7	60%	20%	20%	コロナの影響で機会は減ってきている。 コロナでなかなかできなかったが少しずつ取り入れることができそうになってきた。	40%	4%	9%	47%	0%		ハロウィンで関連のある事業所を訪問し交流をもった。今後も、可能な範囲でいろいろな機関と交流を持つようにする。
	8	20%	20%	60%								今年度も、新型コロナウイルス感染予防の為、実施できていない。状況をみて検討していく。
	保護者への説明責任	1	100%	0%	0%		94%	4%	0%	0%	2%	
2	100%	0%	0%			96%	4%	0%	0%	0%		今後もご家庭と課題やニーズを共有しながら計画を作成し、対応するように心掛ける。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価						評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答	保護者の方のご意見		
連携支援	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	20%	80%	0%		41%	23%	13%	19%	4%	仕事で参加できていないだけか分からないが、把握はできていない。	今年度、ペアレント・メンターを招いて親との座談会を開催するよう準備している。今後、継続した取組になるよう努める。
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	100%	0%	0%		92%	4%	2%	0%	2%		保護者と話し合いの機会を持ち、児童の課題やニーズについて共通理解を図る。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	100%	0%	0%	相談には応じているが、十分な時間がとりにくい。	85%	9%	6%	0%	0%	気になる時は声を掛けていただき話し合い等をしてもらっているとは思う。	保護者のニーズに応え、相談や悩みに向き合うことができるよう、親身な対応に心掛ける。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	20%	20%	60%		22%	19%	21%	38%	0%		ペアレント・メンターを招いて親との座談会を開催するよう準備している。今後も交流の機会を積極的にもつ。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	100%	0%	0%		42%	9%	4%	45%	0%		保護者からの意見に対して、迅速かつ誠実に対応するように心掛ける。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	100%	0%	0%		79%	15%	2%	2%	2%		その子の特性に応じた方法で、分かりやすく伝えるよう努める。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	60%	40%	0%	本年度はまだ会報が出せていない。	54%	17%	2%	21%	6%		年2回のクラブだよりの発行。今後も継続して発信していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	100%	0%	0%		90%	6%	0%	2%	2%		今後も個人情報の取り扱いには、十分注意していく。
非常時等	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	60%	40%	0%		63%	11%	9%	15%	2%	説明されたかもしれないがはっきり覚えていない。	マニュアルは作成しているが、周知までには至っていない。今後、周知の工夫を考えていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無回答		保護者の方のご意見	
母の 対応	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	60%	40%	0%		60%	6%	2%	30%	2%		保健センター内の避難訓練に職員のみ参加。巣立ちクラブ単独での訓練も実施していく。
非常時等 の対応 (続き)	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	40%	60%	0%		/	/	/	/	/	/	虐待防止に関する研修会を実施する。また、虐待についての関わり方については、日々職員で話合うようにしている。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	60%	40%	0%		/	/	/	/	/	/	現在対象者はいない。今後のために、職員間で研修をしておく必要がある。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	100%	0%	0%		/	/	/	/	/	/	利用開始時の聞き取り、アセスメント、半年に一度のモニタリング時に確認している。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	100%	0%	0%		/	/	/	/	/	/	ヒヤリハットを作成しており、必要に応じて記録を残している。